

令和2年度学位記授与式 学長式辞（令和2年3月18日）

皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年は新型コロナウイルスの予防的措置として、学位授与式は規模を縮小して行い、コメンツメントパーティは中止することになりました。今回は、皆さんに直接語りかけられませんが、放送を通してお祝いの言葉をお伝えいたします。

まずは、4年間の努力が実って、本日皆さんが卒業の日を迎えられたことを心よりお祝いいたします。これはもちろん、ご家族をはじめ周囲の方々の応援があつてのことです。どうか皆さん、そのことを、くれぐれも忘れないでください。

さて、現在社会は人工知能（AI）などの技術革新が進んだこともあり、将来については、予測が困難な時代となっています。今ある仕事のうち、10年、20年後に残るものがどれだけあるのか、正直なところ誰にもわからないと思われまふ。こうした時代を力強く生き抜くためには、卒業後も学び続ける強い意志が必要です。卒業生の皆さんには、月並みかもしれませんが「継続は力なり」という言葉を贈ります。

皆さんが社会に出ると、とてもかなわないと思ふ先輩や同僚に出会ふかもしれません。追いつこうと思つても努力は空回りするばかりです。どうかそういう時はあせらず、まずは日々の仕事にこつこつと取り組んでみてください。そして、同じ仕事、同じ作業のくり返しの中で、少しずつ工夫してみる、さらに上司、同僚、その他書物を含むさまざまなものから素直に学んで、昨日できなかったことに再度挑戦してみてください。そうした日々の、一見小さな努力の積み重ねが、新しい方法や分野の開拓、あるいは他人から認められる成果に結びつき、皆さんの人生において、豊かな未来を切り開いてくれることになると思つています。

成長した皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。何よりもお体に気をつけて、お過ごしください。駿河台大学は、いつまでも皆さんを応援しています。

令和2年3月18日

駿河台大学 学長 大森一宏